

(様式第4号)

## 上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和2年度第2回上田市博物館協議会
2 日時	令和3年3月22日 午後1時30分から3時30分まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、鎌田委員、神戸委員、若林委員、前澤委員
5 市側出席者	滝澤市立博物館長、尾見信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長、高野主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月22日

協 議 事 項 等

1 開 会 (滝澤館長)
2 会長あいさつ (児玉会長) ・コロナ禍だが、気候も良くなり、来館者が増える時期。十分にコロナ対策をしながら活動をしてほしい。
3 協議事項 (1) 令和2年度事業報告について ○事務局 (滝澤館長及び尾見館長) から事業報告 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、市立博物館と信濃国分寺資料館は、令和2年4月11日から5月31日までを休館とした。信濃国分寺資料館の春季企画展は、期間中に休館となったため7日間しか開催できなかった。機会をみて、再度開催できたら良いと思う。 ・協議会資料に沿って、企画展の趣旨と概要を説明し、結果及び図録作成を報告。 ・講座等は、期日及び募集人数を当初の計画から変更し行ったものと、中止したものがある。 ・昨年の市立博物館企画展「武士の魂」は、男性目線の企画であったが、今年度の夏季企画展「武家の婚礼」や「ひな人形展」は女性目線での企画である。また、夏季企画展「上田の水害」は、地元の方から再度の開催の要望が多く寄せられたため、昨年のリバイバル展として開催した。 ・1915年5月1日に旧上田市制施行され、5月18日に全市をあげての大祝賀会が開催された。その際の動画の放映権をマルチメディア情報センターが獲得した。当時、上田市がいかに賑わっていたかを知る貴重な資料である。 ・今年度、文化振興基金で上田藩作事方文書一括を購入した。資料購入にあたり、博物館資料購入審査会委員に審査していただいた。 ・令和3年2月22日から3月31日まで、上田市立博物館と上田市美術館と池波正太郎真田太平記館で、スマホアプリから上田の歴史を学ぶ企画を開催中。この企画は、文化庁の委託事業として近畿日本ツーリストから依頼されたもの。今後、可能であれば新しい試みも取り入れたい。 ・今年度、上田市の清蘭堂に博物館の収蔵資料の修復を依頼し、後日納品される。
以降協議 (委員) 企画展開催にあたり、大変だったところは、どんな点か。 (事務局) ・「武家の婚礼」の企画展準備では、上田には資料が少なく、京都まで行き資料を集めた。企画展を開催するにあたり、改めて知識を深める必要があり、大変だった。 ・「上田の水害」の企画展準備では、北信は災害資料が比較的多いが、上田地域は少なかった。今回の資料収集の中で、新しい発見があった。 (委員) 武石地域でも戊の満水の資料がでてきた。今後のまちづくり、地域づくりに重要な資料 (事務局) 今後、依田窪地域の資料収集も進めていきたい。

- (委員) 今年度第1回協議会で、入口等に企画展の見所説明チラシがほしいと要望したところ、企画展によっては、図録が作成されており、説明がわかりやすく良かった。
- (委員) 博物館内の床にテープで、企画展の始めと終わりの誘導表示があり、わかりやすかった。また、県立歴史館で、市立博物館の学芸員が講師を務めた講演を聞きに行った。講演内容や資料が、とてもわかりやすく、大変良かった。
- (委員) 本年度の資料収集の中で、植物標本とあるが、今後どのような形で展示されるのか。
- (事務局) 尾崎蒼石氏が収集した八ヶ岳標本で、押し花。市立博物館別館に現在岩石中心の自然史コーナーがあり、将来的に専門家の意見を聞きながら、その場所で展示できたら良いと考える。
- (委員) 市立博物館の収蔵資料の修復作業実態を展示し、資料修復の高い技術をもった業者が上田市にすることを来館者に伝えたらどうか。
- (事務局) 資料修復には、技術と時間と費用がかかることを来館者に伝える良い機会になるため、検討したい。
- (委員) 信濃国分寺資料館の山城サミットは、コロナ禍でどのように開催したのか。
- (事務局) 事前にそれぞれ別の収録日にビデオを撮り、ユーチューブで配信した。総勢6人程で収録した。
- (委員) 1915年5月18日の旧上田市市制施行の大祝賀会での女性の踊りは、遊郭の女性か。
- (事務局) 「上田市遊郭」の大幕が確認できるが、遊郭の女性とイコールではない。
- (委員) 遊郭の女性イコール芸子さんと考えがちだが、追求できるなら調べて欲しい。
- (事務局) 上田の遊郭について、今後調べていきたい。

## (2) 令和3年度事業計画について

### ○事務局（滝澤館長及び尾見館長）から事業計画

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、計画を進める。なお、地域の感染状況等により、今後、計画変更が必要な場合は、柔軟に対応したい。

### 以降協議

- (委員) 市立博物館夏季企画展「鉄道」の展示方法は。
- (事務局) モノ資料は、市立博物館にはないため、上田電鉄や県立歴史館から借用する予定。展示内容は現在検討中。モノ資料が少ないため、写真パネルが主になるのではないかと。
- (委員) 大正から昭和にかけて、上田に5路線もあったことは、すごいこと。子ども達に伝える良い機会なので、子ども達にもわかりやすい展示にしてほしい。チラシを作成するより、A3二つ折り程度の資料を作成し、受付で配ってほしい。
- (委員) 夏季企画展では、パネル等で実際に利用した人や関係者の声もわかる展示にしてほしい。
- (委員) 東急車両、五島慶太、上田電鉄が東急電鉄の子会社だったこと等、東急電鉄と上田電鉄との関わりがわかる展示にしてほしい。できれば、青木村の五島慶太未来創造館から物資料を借りて展示してほしい。
- (委員) 市立博物館の夏季企画展「鉄道」と特別企画展「戦国武将の書状展」とは、開催期間が重なる部分があるが、大丈夫なのか。
- (事務局) 特別企画展「戦国武将の書状展」の開催場所は市立博物館別館の予定。この展示品が、10月中旬から彦根城博物館に貸し出す予定があり、前倒しで計画した。
- (委員) 寄託資料である、柳沢家文書・問屋日記は、現在どのような手続きをされているか。
- (事務局) 一時は、寄贈の話もあったが、滝沢家文書も寄託なので、同様に寄託として進めている。現在は、当主がお亡くなりになり、手続きが保留となっている。
- (委員) 信濃国分寺資料館の春季企画展の「土器は動く」のタイトルの発想がとても良い。
- (委員) 信濃国分寺資料館の秋季企画展「上田盆地の玉作り遺跡」について、上田市民もあまり知らないと思うので、ぜひ伝えてほしい。

(委員) 以前は、博物館として5、6種類ほど出前講座があったが、現在はどうか。

(事務局) コロナの影響で、ほとんど開催されていない。加えて、学校の先生方も多忙。

(委員) 以前は、子ども達に学校周辺の遺跡について話をしたが、学校も忙しくなり、その機会もなくなり、危機感を覚えた。子ども達への歴史・文化の伝承は、とても大事なことで、子ども達に目を向けて展示等を考えてほしい。

(委員) 上田市立博物館と信濃国分寺資料館は、コロナの影響で休館した期間もあったようだが、博物館は、市民が本物にふれる場所として、市民や子ども達の教育普及にとっても大切な役割を持つと考えるので、学校との連携を大切にしてほしい。中止することは、簡単だが、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に行いながら開催する努力も大切。

(事務局) ・市立博物館では、清明小学校及び西小学校の総合学習の授業で見学に来た児童への案内や質問への回答を行った。

・信濃国分寺資料館では、長野市からの修学旅行生を受け入れ、案内をした。また、神川小学校から見学に来た児童への説明を行った。

・いずれも新型コロナウイルス感染症対策として、少人数のグループに分かれての見学とした。

・市立博物館及び信濃国分寺資料館職員数は少ないため、大きく広報はできないが、学校からの要望があった時に対応している。

### (3) その他

(事務局) ・次期上田市博物館協議会委員への就任依頼及び就任承諾書の提出

・令和3年度第1回上田市博物館協議会は、4月、5月頃に開催したい。

## 4 閉 会 (滝澤館長)